

USNET

2023
AUTUMN

No.
70

USNET FEATURE

住民参加で暮らしが変わる スマートシティ最前線

75th
FUJITEC





CONTENTS USNET アスネット 2023 AUTUMN No.70

- 3 USNET FEATURE
**住民参加で暮らしが変わる
スマートシティ最前線**
- 8 WORKS フジテックの納入事例 [福井県立恐竜博物館 (福井)]
- 10 PICK UP “安全・安心”のサービスを実現する人材育成
- 12 ニューノーマルな働き方
三井ホーム株式会社 [時間帯別オフィスBGMの活用]
- 13 Let's! 未来へのワンアクション
[5 ジェンダー平等を実現しよう]
- 14 ご当地の名品名所 [福井県]
- 16 移動をつくる現場から [セーフネットセンター ビッグフィット 小山内 章浩]

FROM FUJITEC

「USNET」とは

「USNET」(アスネット)は、お客さまとフジテックがUS(私たち)となって結ばれ、明日のより美しい都市機能を、共に目指していくためのコミュニケーション誌です。

カバーは、季節の移り変わりとともに暮らす人々の様子を物語のような世界観で表現。色づく山々を背景に、イチョウのパラグライダーが舞います。季節の幸があふれる街でどんな秋が見つかるかな。

COVER

Illustration: Takashi Kawakami



フジテックは、2023年2月9日に創業75周年を迎えました。

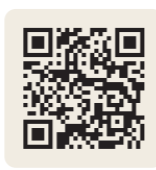
これまで、当社の活動を支えていただいたステークホルダーの皆さまに心より感謝申し上げます。今後も移動を支えるパートナーとして、“安全・安心”を最優先に、快適なエレベータ・エスカレータを提供してまいります。

75

the
FUJITEC



バックナンバーも読んでみてね!



住民参加で暮らしが変わる スマートシティ最前線

デジタル技術の活用や、地域課題を解決する新たなサービスで
住む人の暮らしやすさや、地域の魅力向上を目指すスマートシティ。
特に近年、住民の声を積極的に活用した取り組みが本格化しています。
住民の参加によって、地域の暮らしやサービスはどのように変わっていくのか
先行する自治体の例を見ながら探っていきましょう。



あらゆるデータの連携で広がる

「住む人」が主役のスマートシティ

なぜ今、住民参加型のスマートシティに注目が集まっているのでしょうか。その背景や、住民参加の意義について考えます。



一般社団法人 AiCT コンソーシアム 代表理事
海老原 城一氏
東京大学卒業後、アクセンチュア株式会社入社。スマートシティの構想立案、デジタル戦略やサステナビリティ戦略などの策定に従事。東日本大震災以降、復興支援プロジェクトの責任者を務める。共著に『SmartCity 5.0 持続可能な共助型都市経営の姿』がある。

住民参加が求められる背景

「スマートシティ」の概念は、この10年で大きく変化しました。2010年前後は、エネルギーの効率利用を目的としたハードウェアの整備が中心でしたが、近年は地域課題の解決を目的に、あらゆる住民データを活用して持続可能な「まち」を目指す取り組みの総称へと広がっています。背景には、テクノロジーの進展でデータの活用コストが下がり、課題解決型の事業やサービスに取り組み始める企業が増えたことが挙げられるでしょう。

ただし、企業にとって事業の収益化は容易ではありません。持続可能なモデルにするには、より優先度の高い地域課題を特定し、「本当に使いたい」としてもらえるサービスの創出が求められます。そこで重視されるのが、日々の生活の中で課題や不満を抱えている住民の声。課題解決型のスマートシティを成功させるには、住民からのリアルな情報収集や、住民を巻き込んだサービスの開発・改善が必要不可欠なのです。

住民サービス向上のカギを握る都市OS

都市OS（オペレーションシステム）とは、地域・分野の垣根を越えてデータのやりとりを可能にするデータ連携基盤のこと。実現すれば企業のデータ収集が容易になり、サービスの開発コストも軽減。新たなサービスの提供や、より複雑な地域課題の解決につながると期待されています。

都市OSの実現で、将来の暮らしはどのように変わる？



住民参加で生まれる「幸」循環とは？



住民参加型スマートシティ実現に向けてまずはここから始めてみよう

住民参加型スマートシティの実現には、小さなことからでも一歩前へと進むことが大切です。どのように一歩を踏み出すか、自治体、企業、市民それぞれの立場から紹介します。

- 自治体として**
優先課題を明確化し共創パートナーを集める
優先度の高い地域課題を特定し、本気で協力してくれるパートナー企業を探しましょう。別の自治体の成功事例から、自分の自治体に応用できることを学び取る姿勢も大切です。
- 企業として**
スモールスタートで成功体験を積み上げていく
万人に受け入れられるサービスを目指すより、小規模でも実際に利用してもらえるサービスを数多く打ち出す方が現実的。他社との連携で開発コストの抑制を図るのも有効です。
- 市民として**
積極的なサービス利用と意見の発信が大切
すでに地域で提供されているデジタルサービスがあるなら積極的に使ってみましょう。その上で、改善点や要望を発信すれば、さらなるサービス向上が期待できます。

スマートシティ 先行事例に学ぶ

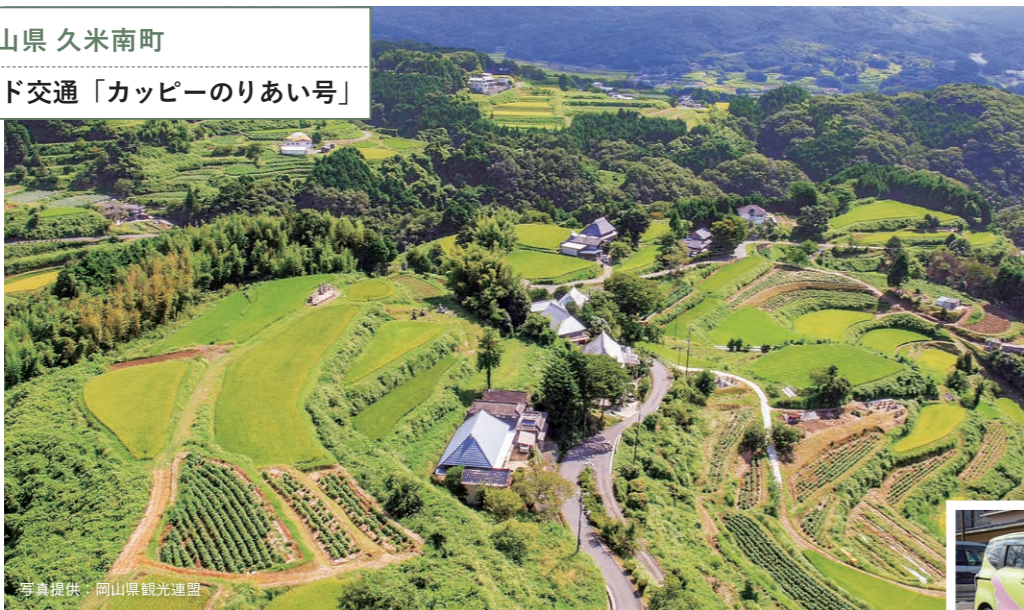
住民が「参加したくなる」まちづくり

HOW TO ?

住民の声から課題やニーズを収集

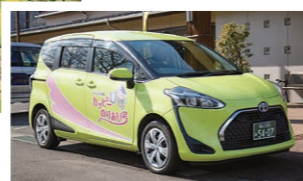
CASE 1 岡山県 久米南町

▶▶ デマンド交通「カッピーのりあい号」



写真提供：岡山県観光連盟

広大な棚田が広がる久米南町。カッピーのりあい号は、地域住民の足としてこの山間の町を走り続けている



ここが POINT!

住民アンケートを繰り返し、地域住民の足として定着

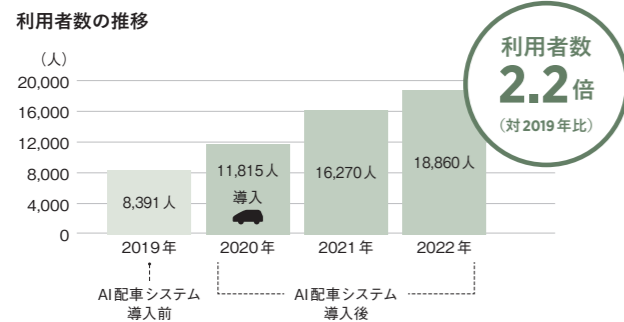
岡山県久米南町では、人口減少に伴う公共交通機関の撤退を受け、2016年にタクシーとバスの特徴を掛け合わせたデマンド交通「カッピーのりあい号」を導入。しかし、朝昼の特定の便に利用が集中する一方、午後の輸送力には余裕が出てしまい、効率性に課題を抱えていました。そこで同町では、2020年にトヨタ・モビリティ基金[※]の助成を受け、AI配車システムを導入。これまでの定期運行ではなく、町内であればいつでもどこでも利

用できるサービスに変更しました。

AI配車システムの導入に際しては、電話や説明会、複数回のアンケートなど、住民への聞き取り調査を徹底。住民の声を生かして利便性向上と利用促進を図った結果、利用者はシステム導入前の2倍以上に上昇しました。加えて、車両の空きスペースを活用した貨客混載のサービスも追加され、さらなる利便性向上と運行効率化を実現。持続可能な「地域住民の足」として注目されています。

[※]トヨタ自動車が発立した一般財団法人。国内外の移動問題の解決に向けた助成活動などを行っている。

地道な改善で利用者が増加



集計：久米南町

貨客混載サービスが加わり、より便利に

- ▶ 宅配サービス
登録店舗に注文した商品を、指定した時刻・場所に配送
- ▶ おすそわけサービス
個人の家から別の個人の家へ荷物を配送
- ▶ 農産物出荷サービス
収穫した野菜や果物などをJAの直売所に出荷代行

HOW TO ?

データをもとに新たなサービスを創出

CASE 2 福島県 会津若松市

▶▶ スマートシティ会津若松



スマートシティ会津若松を推進するためICT関連企業の集積地として2019年に完成した「スマートシティAICT（アイクト）」

ここが POINT!

住民の不安を払拭し、同意を得た上でデータを活用

住民参加型のスマートシティにいち早く着手した福島県の会津若松市では、行政が持つ情報や病院の診療履歴、民間サービスの利用実績や購買履歴など、住民に関する各種データを都市OS上で一元管理。これらのデータを活用し、22種類のデジタルサービスを展開しています(2023年3月時点)。

同市では、住民データを取得する際、サービスごとに利用目的や範囲などを説明し同意を得る「オプトイン[※]

方式」を採用。データ利用に関する住民の不安を払拭し、事前に同意を得た上で主体的に提供してもらっているのが特徴です。こうして集めたデータを都市OSで連携し、市民一人ひとりにパーソナライズされたサービスとして展開。属性や好みに合ったサービスだからこそ積極的に利用され、より多くのデータを蓄積。サービスの利用実績から得られたインプットをもとに、さらに新たなサービスが生まれる好循環を実現しています。

[※]「オプトイン」とは、情報の受け取り、利用などに対してユーザーが「許諾」すること。反対に、情報の受け取りや利用などを「拒否」することを「オプトアウト」という。

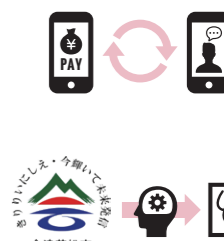
スマートシティ会津若松の全体像



一般社団法人AICTコンソーシアムプレスリリース (2023年3月17日発表) をもとに作図

パーソナライズされた住民サービスの例

- ▶ 購買情報×健康アドバイスサービス
スーパーマーケットでの購買データをもとに、健康アドバイスがスマートフォンアプリに届く
- ▶ 住民基本情報×行政手続き申請サービス
転入、転出、転居に伴う行政手続き書類を、スマートフォンやパソコンで自動作成できる



WORKS

フジテックの納入事例

Name

福井県立恐竜博物館【公共施設】

Fukui Prefectural Dinosaur Museum 福井・勝山

Data

- 竣工：2023年
- 施主：福井県 ●設計：株式会社黒川紀章建築都市設計事務所
- 施工：熊谷組・大北久保建設・大野建設工業特定建設工事共同企業体

Client: Fukui Prefecture Design and supervision: Kisho Kurokawa architect & associates Construction: Joint Venture Group of Kumagai Gumi, Daihokukubo Construction and Ohno Construction and Engineering for the Specified Construction Work

恐竜に関する資料を中心とした地球史を学習できる国内最大級の博物館が「福井県立恐竜博物館」です。

新たに増設された地上3階建ての銀色の卵形ドームは、大型のスクリーンに実物大の恐竜が投影される「3面ダイノシアター」や、化石研究の様子をリアルに体験できる「化石研究体験室」などで構成されています。

新施設にフジテックのエレベータ2台、エスカレータ4台を納入。1～3階の吹き抜けには「恐竜の塔」というシンボルモニュメントが設置されています。その左右に設置されたエスカレータには、トラス外装にLED照明が埋め込まれており、時間に合わせて色が変化することで、エンターテインメントな空間を演出しています。

Fukui Prefectural Dinosaur Museum is a largest museum where the history of the Earth can be learnt mainly with reference to the documents on the dinosaurs.

The newly built egg-shaped dome with three (3) stories consists of "The Large Three-View-Screen Dino Theater" where real-scale dinosaurs are projected on the big-scale screens, "The Fossils Study Experience Room" where the atmospheres of fossils study can be experienced like the study of real fossils, and other facilities.

In this new dome, Fujitec installed two (2) elevators and four (4) escalators.

In the atrium occupying a large space from the 1st to 3rd stories, the symbol monument called "Dinosaur's Tower" is installed. The escalators at the right and left sides of that symbol monument have LED lights on the exterior of their trusses. The LED-light colors vary with time, creating an entertainment space.



Elevators Specifications

機種 (Type)	用途 (Use)	積載 (kg) (Capacity)	定員 (名) (Quota)	速度 (m/min) (Speed)	停止階数 (階) (Stops)	台数 (台) (Units)
Order XIOR	荷物用	2000	-	60	2	1
XIOR	乗用	750	11	90	3	1

合計 (Total) : 2

Escalators Specifications

機種 (Type)	モデル (Model)	ステップ幅 (mm) (Size)	階高 (mm) (Rise)	勾配 (度) (Inclination)	台数 (台) (Units)
GS-NX	F	600	6500	30°	2
GS-NX	F	600	5000	30°	2

合計 (Total) : 4

“安全・安心”のサービスを実現する人材育成

2020年、大阪に続く第二の研修施設として東京・大田区に「エクスペリエンスセンター東京」をオープンし、メンテナンスをはじめとするフィールドエンジニアの人材育成の強化に取り組んでいるフジテック。安全に込められた思いや具体的な研修体制について、担当者に話を聞いて深掘りしていきます。

フジテックのフィールド人材育成について詳しくはこちらから



新旧機種がそろった研修センター



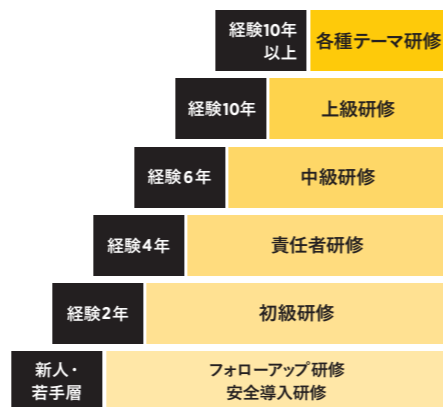
1 実機を使用した研修の様子 2 東京の研修施設に設置されたエスカレータ実機 3 新旧8台のエレベータ実機をそろえる

技能向上と責任感を醸成する研修制度

新旧さまざまな機器が存在し、一つとして同じ環境はないエレベータ・エスカレータの設置現場。フジテックが掲げる昇降機の“安全・安心”を実現するためには、現場でメンテナンスなどの業務に当たる、フィールドエンジニアの育成が必要不可欠です。マニュアルに沿った紋切り型の仕事を行うのではなく、状況に合わせた対応を可能とするプロフェッショナルの育成は、フジテックの事業の根幹です。こうした安全への思いを背景に、フジテックでは専用の研修施設に加えて経験

年数に応じたきめ細かな内容の研修を実施しています。新入社員を対象とした、フィールドエンジニアの業務理解と安全意识向上を図る「安全導入研修」をはじめ、4年目の社員に向けた、責任者になるための知識や技術の習得を目指す「責任者研修」。さらに10年目には、部下や組織をリードできるよう、安全管理や技術指導のスキルを磨く「上級者研修」をラインアップ。すべてのフィールドエンジニアが、高い技術力を有してお客さまに“安全・安心”を届ける環境を整えています。そして、研修は社会インフラの一端を担う技術者集団としての責任感やプライド意識を醸成する機会にもなります。

フィールドエンジニアの研修制度



経験年数ごとに階層別研修6種類、テーマ研修13種類、社内資格9種類の重層的な制度を用意。段階的にスキルアップする仕組みを設けている。

充実した施設と独自の研修で持続可能な学びのサイクルを

当社では、エレベータやエスカレータの実機が設置された研修施設を、東京と大阪に設置。大阪では新旧各世代の機種を、東京では現行機種を中心とした最新の実機を備えています。各地域のニーズを捉えつつ、メンテナンスから据付工事まで幅広い研修を実施できるようにしています。2020年に東京に研修施設を新設したことにより、フィールド研修部主催の研修機会が増え、各事業所が主体となって行う独自の研修も実施可能に。柔軟で充実した研修環境を整えることで、

フィールドエンジニア一人ひとりのスキルアップにつなげています。また当社の研修では、現役のフィールドエンジニアの社員が講師となり、プログラムの作成から当日の指導までを一貫して行うのも特徴の一つ。全国さまざまな現場で働くフィールドエンジニアたちが、実際に業務を行う中で得た経験や着眼点を研修プログラムに反映させることで、より具体的で業務に役立つ知識・技術の習得が可能になります。さらに、研修を通して研修生が成長するのはもちろんのこと、指導することによって講師自らも成長の機会を得る、学びのサイクルを実現しています。



フジテック株式会社
人材開発センター
フィールド研修部
部長
伊藤 公一



VRを使った体感トレーニング。転落や手の巻き込み事故の疑似体験を通して安全の意識を身に付ける

研修が現場で生きる！社員講師が語るフィールドエンジニアの成長

研修では、メンテナンス部門として新入社員を対象に行う「配属者研修」と、4年目向けの「点検責任者資格認定研修」の講師を担当しています。指導の中で特に気を付けていることが、危機意識を持たせること。フジテックの社員として、お客さまだけでなく自分の“安全・安心”も守れる人材にならなければなりません。講師歴は6年です。「研修で多様な測定

方法や希少な機種、経験の少ない最新機種もいち早く学ぶことができ、現場でもスムーズに対応ができた」と、現場での研修内容が活かされた声を聞く機会も多いですね。私自身も講師を経験することで昇降機に関する理解を深め、また研修生と触れ合う中で新たな気づきを得ます。今後も自分のスキルを磨きながら、指導や育成の幅を広げていきたいです。



フジテック株式会社
京滋支店
彦根サービスセンター
大橋 慎矢

[Vol. 11]

三井ホーム株式会社 「時間帯別オフィスBGMの活用」



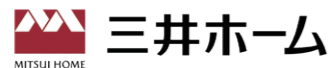
写真はイメージです ©takeuchi masato / PIXTA

音楽でオフィスの雰囲気を変えて やる気も効率もアップ

朝のオフィスに入ると、流れているのは穏やかなヒーリングミュージック。リラックスした雰囲気とともに一日の仕事を気持ちよくスタートし、午後は脳や体の疲労を癒やす音楽で、作業の集中力が自然と高まる――。

三井ホーム株式会社では、USEN（USEN-NEXT GROUP）が提供するオフィス向けBGMサービス「Sound Design for OFFICE」を導入し、時間帯ごとに最適な職場環境を音楽で演出しています。サービスを利用してオ

フィスにBGMを取り入れたことで、仕事の流れにメリハリが生まれ、業務効率もアップしました。特に効果を発揮しているのが、夕方の終礼時にかける映画『ロッキー』のテーマ。この曲を使うようにしてから、残業時間中の業務を効率的に進める社員が増え、結果として残業時間の短縮につながったという実績も。生産性向上を後押しする働き方や職場づくりを考える上で、今、音楽の力が注目されています。



三井ホーム株式会社

【事業】注文住宅、賃貸・土地活用、医院・施設建築、リフォーム
【本社所在地】東京都 【従業員数】2,580名（2023年4月1日現在）

Let's! 未来へのワンアクション Vol. 03

一人ひとりの小さな行動も、持続可能な社会につながる大事なアクション。当社が会社や個人で取り組むSDGsに向けた活動を紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
SDGsとは？：持続可能な未来を築くために国連総会で採択された、2030年までに達成すべき目標。

今号の目標



5 ジェンダー平等を実現しよう

女性に対するあらゆる暴力、風習による偏見・性被害、教育機会の剥夺などをなくすことで、すべての女性の可能性を広げ、男女平等の実現を目標に掲げています。

フジテック株式会社 北海道支店

高橋 学の ワンアクション

多様性を認め合う職場づくりのために社内セミナー開催



多様性を認め合うには知識の共有が必要だと考え、「ダイバーシティ&インクルージョン～LGBTs[※]からSOGI[※]の概念へ～」と題した管理職向け研修を開催。当事者が抱える問題について話し合う中で、カミングアウトの際の寄り添い方や職場環境の見直しについて気付きがあったとの意見があり、個を尊重する企業風土に一步近づけたように感じています。

※LGBTsは性的マイノリティの総称。SOGIは性的指向（Sexual Orientation）と性自認（Gender Identity）の略称

フジテックの ワンアクション

フジテック株式会社 ビッグステップ製作所
ESC生産部 製造課（電気）

久保田 さなえの ワンアクション

オリジナル治具で誰でも 効率良く作業できる環境を実現



エスカレータの生産現場では、力が必要な太いケーブルの処理工程はこれまで男性が担うことがほとんどでした。作業環境を改善するため独自の治具を内製したことで、力の差に関係なく作業ができるようになり、負担の軽減を実現しました。性別にかかわらず、今後も効率化や多能工化を目指していきたいと思っています。

女性フィールドエンジニアがメンテナンスの現場で活躍



競技大会でメダルを獲得

フジテックでは男性比率の高い昇降機のメンテナンス現場業務で、女性フィールドエンジニアが活躍しています。入社4年で昇降機設備の定期検査・点検に1人で出向くための国家資格「昇降機等検査員」を取得します。またフィールドエン

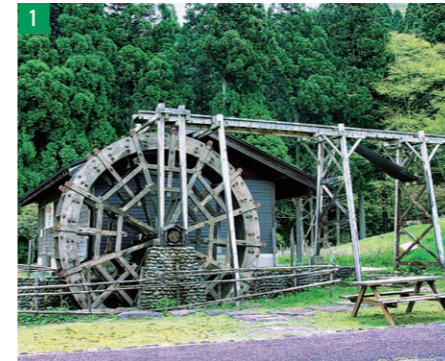
ニアがメンテナンスの技術やお客さまへのサービス品質を競う社内の「フィールド技能競技大会」では、横浜支店の女性ペアのチームが総合成績で第2位に輝きました。フジテックは多様な人材の活躍を、会社の持続的な発展につなげます。



1 丁寧に練り上げることで生まれる絹のようなしなやかさと、柔らかに滑らかな舌触り。見た目にも羽二重織のように洗練された美しさがあり、口に含めばほんのりと上品な甘さが広がる。
2 もち米、砂糖、水あめと羽二重餅の材料はいたってシンプル。福井県は日本有数の米どころで、山からの豊富な雪解け水、寒暖差のある気候によって、おいしい米が作られてきた歴史がある。



福井県立恐竜博物館



1 橋に隣接する水車広場には、コイが泳ぐ池や芝生が広がりゆったり過ごせる。広場内は花の名所としても知られ、春にはシャクナゲや御衣黄(ぎょいこう)と呼ばれる珍しい桜も見られる。
2 かずら橋の上から眺める景色は、川の清流と周囲の木々が織り成す四季折々の表情が魅力。足羽川にかぶさるように枝を伸ばした木々が季節とともに色彩を変え、特に紅葉の時は絶景となる。



鯖(さば)の(こ)り

連載 Vol. 11

ご当地の名品名所



ふぐ刺し

【羽二重餅】

上質な絹織物の美を和菓子で表現

餅の消費量が全国トップクラスといわれる福井県。一般的に餅は冬の食べ物というイメージですが、福井県では季節の行事や日常的なお菓子としても使われ、古くから食文化に餅が根付いています。中でも名高いのが明治時代に誕生した「羽二重餅」。福井県の名産品として世界にも知られた上質な絹織物「羽二重織」の魅力を、餅を使って見事に表現した和菓子です。純白の絹のよう

な美しさ、ふんわりと口の中ですりこける食感がたちまち人気となり、福井県を代表する銘菓となりました。今では定番の羽二重餅の他、チョコレートやストロベリーなど味に変化をつけたり、どら焼きや最中あんに入れたり、洋菓子のプリンと組み合わせたりと新感覚の羽二重餅も登場しています。福井観光のお土産は、バラエティー豊かな羽二重餅の中から選んでみてはいかがでしょうか。

STAFF VOICE
現地スタッフのおすすめ

教えてくれたのは…
フジテック株式会社
首都圏統括本部
北信越支店
さきすかまさき
崎須賀 雅貴

トロ〜りおいしい「生羽二重餅」

マエダセイカの「生羽二重餅」は、「箱を水平に持つように」と注意書きがあるほど柔らか。他では味わえない衝撃的なおいしさです。

羽二重餅の古里 マエダセイカ
福井県吉田郡永平寺町松岡吉野35-21-1
営業時間 8:00 ~ 17:00 (年中無休)
☎ 0120-36-3456 <http://maedaseika.co.jp/>

国内外の各地で働くフジテックの社員がえりすぐった、さまざまなご当地情報をご紹介します。今回は「福井県」にフォーカスして地域の魅力をお届けします。



岡倉天心像

【かずら橋】

渓谷に架かるつり橋でスリル体験

福井県の中央部、山々に囲まれた池田町には全国でも珍しいつり橋があります。それが足羽川に架かる「かずら橋」。手すりなどがシラクチカズラというツル植物に覆われた長さ44m、高さ12mのつり橋は、渓谷美と冒険気分が楽しめる評判。歩くたびにゆらゆらと揺れるだけでなく、足元を見ると床板の間から川の流れが見えてスリル満点です。歴史の趣を感じるつり橋ですが、完

成したのは比較的新しく1989年。代々この地に伝わる平家の落人伝説や、「カヅラ谷」「カヅラ平」などの古い地名から、歴史にちなんだ観光の目玉として架けられたのだそうです。近隣には、日本の滝100選に指定された「龍双ヶ滝」もあります。高さ60mの岩肌を勢いよく水が流れ落ちる様子は、まさに壮観。福井県を訪れた際は、四季折々の豊かな自然を思う存分お楽しみください。

今回は…
福井県



STAFF VOICE
現地スタッフのおすすめ

教えてくれたのは…
フジテック株式会社
福井サービスセンター
あわのたかひろ
栗野 高太

恋のパワースポットとしても人気

スリル満点の橋と一緒に渡ると絆が深まる、二股の川の合流地点が見えて縁起が良いなど、恋愛のパワースポットとしても人気の「かずら橋」。橋の上でカップルが愛を誓うと「永遠に幸せになれる」という噂もあります。

つり橋効果で恋愛成就!

移動をつくる 現場から

— VOL.03 —

移動の「安全・安心」や新しい体験を生み出す現場から、フジテックのさまざまなプロフェッショナルたちを紹介します。



直接顔は見えなくても、お客さまやメンテナンスの現場からの「ありがとう」の言葉が大きな励みになっています（小山内）

CATEGORY

セーフネット センター

INTERVIEW

セーフネットセンター
ビッグファイット
小山内 章浩
おさない ちかひろ

お客さまとフィールドエンジニアを つなぐ「安全・安心」の懸け橋

セーフネットセンターはエレベータ・エスカレータのメンテナンス現場をバックアップし、広域災害時の緊急対応などに当たる部署です。東西4カ所で開催全国をカバーしています。同センターではエレベータ・エスカレータの遠隔監視の信号やお客さまからの電話を受けて、現場のフィールドエンジニアへの確な対応を指示する必要があります。

お客さまからの電話は、緊急を要するものがほとんど。電話では相手の姿が見えないので、まずは状況を正確に把握することが大切です。そのためにも、お客さまのお話を丁寧に聞き出し、お困り事の本質を正しく捉えた上で、フィールドエンジニアにつなぐよう心掛けています。フィールドエンジニアとのやりとりでは、長年のメンテナンス業務で培った知見が生きています。経験から現場の状況がよくわかるので迅速

な指示が可能となり、お客さまの不安をより早く解消できます。

今後の目標は、技術的な知見をセーフネットセンターのメンバーに広げ、緊急時の対応力を今以上に高めていくこと。それが一層の安心と信頼につながると考えています。

COLUMN

サテライトを増設し、4拠点に



災害時の対応能力向上とリスク分散のため、セーフネットセンターと同等の機能を持つ拠点を2カ所増設。有事の稼働キャパシティを1.5倍に拡大しました。

フジテック株式会社

USNET [アスネット] 2023 AUTUMN No.70 (2023年10月1日発行)

編集・発行/フジテック株式会社 広報室

〒108-8307 東京都港区白金1丁目17番地3号 TEL.03-4330-8233 www.fujitec.co.jp